

日本画 《黄穹の争跡》*₁

牧 野 一 穂*₂

Japanese-painting 《Traces of the dispute under the ocher sky》

Kazuho MAKINO

*₁ 第40回記念創画展 創画会賞（最高賞）受賞作品

この法人は、一般社団法人創画会という。英文では The SOGA-kai Association of Japanese Painting と称する。日本美術の伝統を基に、新時代の自由と独立の自覚をもって、美術展覧会等を開催するとともに美術に関する調査研究等を行い、日本美術の創造活動を奨励することにより、我が国の文化の向上発展に寄与することを目的とする。審査については、本会会員が一括して監査、審査にあたる。*₃

*₂ 長崎大学教育学部芸術表現講座 准教授 絵画担当

*₃ 一般社団法人創画会定款並びに作品募集要項より抜粋



《黄穹の争跡》

181.8cm x 227.8cm

日本画作品 岩絵具、水干絵具、箔、墨、石膏、合板

本作《黄穹の争跡》は、人物を主題とした造形を課題とした。群像としての人体を配することで、絵画空間としての機能を持つ、現実空間とは異なる空間の再構成を試みた。支持体である合板の下地には、石膏と水干絵具を混ぜた溶媒を用い、画面上の厚みに変化をつけるため塗布回数に差異を設けた。併せて、下地と絵具の塗布を行う際に、一般的な絵画用刷毛のみでなく、パレットナイフ、並びに金属束子を用い、マチエールに変化を与える効果を狙った。